

一般財団法人北栄スポーツクラブ 指定管理業務評価表(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

業務名	実施概要	成果と課題(自己評価) * 記載できるものは客観的な数字も含わせて記載(改善できたことは前年度と今年度の比較、毎年度事業は各年度など。必要なら別紙添付。)	自己評価 A～E	講 評 * 北栄町公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例 第6条関係	総合評価 A～E
《管理・運営に関すること》					
◎施設の維持管理(修繕等)に関すること	指定管理施設の管理業務	・各施設のトイレ、ドア、ガラス破損の不備に対して迅速に対応した。トレッドミル、エアロバイクが経年劣化で故障箇所が出てきているので更新を考えないといけない時期に来ている。	C	第6条第2号(効用、経費)、第3号(人的能力) 適切に管理を行っている。 軽微な修繕は、職員で対応し、経費削減、適切な管理に努めている。	C
◎日常点検、保守、巡視に関すること	指定管理施設の管理業務	・管理施設を定期巡回するだけでなく、台風や大雪といった自然災害の発生直後にも迅速に特別巡回を実施した。いち早く施設の破損や不備を発見し、即座に応急処置や修繕の対応を行ったことで、二次被害や事故を未然に防ぐことが出来た。この徹底したリスク管理と迅速な危機管理対応により、すべての利用者が常に高い安全性を保った環境の中で、安心してスポーツ活動に打ち込める空間を維持・提供し続けることが出来た。	C	第6条第2号(効用、経費)、第3号(人的能力) 適切に管理されている。 点検も定期的に行っており、毎月報告も受けている。	C
◎防火管理に関すること	別添の「消防(防災)計画」を参照	・日々の定期点検業務を徹底して行い、万が一不備や異常を発見した際は迅速かつ的確に対応することで、建物の安全性を維持し防火体制の万全に努めた。	C	第6条第2号(効用、経費)、第3号(人的能力) 適切に管理されている。 専門業者による定期的な点検、管理が行われている。	C
◎運営・利用許可等に関すること	利用者窓口受け付け業務	・管理施設の受付業務ではタブレットを用いた一括管理システムにより、休館日を除く全時間帯の予約状況をリアルタイムで把握し、重複予約の発生を防止し、公平・平等な受付に努めた。希望施設に空きがない場合でも、利用目的や用途に応じて学校施設を含む代替施設を提案するなど、臨機応変な窓口対応を行い、施設の適正かつ合理的な運用を促進した。	C	第6条第1号(平等利用)、第2号(効用、経費)、第3号(人的能力) 適切に運営されている。 スマートロックの導入やキャッシュレス決裁等で利用者の利便性向上に努めている。	C
◎利用者への対応(案内、苦情等)に関すること	利用者からの問い合わせ、苦情等の未然防止と対応方法	・常に「おもてなし」の心を持ち、笑顔と丁寧な言葉遣いで心地よい挨拶や接客、迅速な問い合わせ対応を徹底した。お客様から頂いたクレームやご指摘、ご要望は、単なる意見に留めずスタッフ間で共有し、原因究明と再発防止に努めている。さらに、実現可能なご要望に対しては、業務改善やサービス向上に向けて迅速かつ最大限の努力を重し、お客様満足度の向上に繋げている。	C	第6条第1号(平等利用)、第3号(人的能力) 適切な対応が出来ている。 要望に対しては可能な限り対応し、クレームや指摘に対しては教育委員会と相談しながら丁寧な対応に努めている。	C
◎経理に関すること	公益法人会計に基づき処理	・実施事業、その他、法人の会計毎に適正な処理に努めた。今後も監査員(税理士)等に相談しながら適正な会計処理に努めていきたい。	C	第6条第2号(効用、経費) 監査員(税理士)に相談しながら、適正な処理に務めている。	C
《委託事業に関すること》					
◎学校体育施設の利用受付	北条、大栄小・中学校4校の受付業務	・学校と事前に何か月か先の予定について台帳で確認をしている。また学校体育施設利用の問い合わせがあった際はその都度学校に予定を確認し迅速に対応した。教頭先生の不在時や火、土、日曜日、祝日などは確認が取れないため、今後はタブレットなどで施設の利用状況を情報共有しながら学校と協力してやっていきたい。	C	第6条第1号(平等利用)、第2号(効用、経費)、第3号(人的能力) 適切に業務を行っている。	C

業務名	実施概要	成果と課題(自己評価) * 記載できるものは客観的な数字も含わせて記載(改善できたことは前年度と今年度の比較、毎年度事業は各年度など。必要なら別紙添付。)	自己 評価 A～E	講 評 * 北栄町公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例 第6条関係	総合 評価 A～E
《補助事業に関すること》					
◎スポーツ少年団	7団体が登録 (北条剣道、北条バレーボール、北条ミニバスケットボール、北条バドミントン、大栄バレーボール、大栄野球、北栄ミニバスケットボール)	・各競技・チームに総勢115名の子どもたちが登録した。団員たちは日々の練習に励むだけでなく、郡大会、中部地区大会、そして県レベルの交流会にも積極的に参加し、他地域の仲間たちと切磋琢磨しながら全力でプレーを楽しんだ。こうしたスポーツを通じた健全な育成の場を守り、心身の健康増進につながる貴重な活動機会を継続して提供することができた。	C	第6条第1号(平等利用)、第2号(効用、経費) 子どもたちの心身の健康のため、活動機会を提供できている。	C
◎元旦 マラソン & ウオーキング大会	1キロと3キロのコースをランニングやウオーキングし、今年1年の健康づくりのスタートを切る	・当日は厳しい寒さの悪天候に見舞われたが463人の参加があった。イベント内では、福引抽選会も実施され、当選者が決まるたびに歓声と笑顔が広がった。本イベントは、町民の皆様の健康増進と親睦を深める大切な機会となっているおり、今後もスポーツ推進員とより一層緊密に連携・協力しながら、継続・発展させていきたい。	C	第6条第2号(効用、経費) 年末年始の多忙の中、スポーツ推進委員をはじめ、関係各所と調整し、町民の健康増進のため尽力している。	B
◎北栄町駅伝競走大会	北栄町施行20周年を記念し、北条支所から大栄庁舎を7区間にわたりタスキでリレーをする	・町制施行20周年を記念し、6年ぶりに北条支所から大栄庁舎を結ぶ7区間のコースで開催した。小学生から一般まで計30チームがエントリーし、異世代交流の場となった。また沿道からは多くの住民が熱い声援を送り、地域一体となった大盛況の大会であった。なお、来年度はお台場公園周辺の周回コースに戻して開催される予定。	C	第6条第1号(平等利用)、第2号(効用、経費) 町制施行20周年を記念して、6年ぶりの現地開催だったが問題なく実施できた。	C
◎各種町民大会	自治会の団結力を高め親睦を図る (参加人数別添資料)	・各競技団体と自治会が円滑に参加できるよう協議を重ね、大会を開催した。悪天候の影響で中止となった競技もあるが、多くの住民が参加し、大きな盛り上がりを見せた。今後も、より多くの方に気軽に楽しんでもらえるよう、大会要項の簡素化や競技ルールの柔軟な見直し等を行い、さらなる参加者拡大を目指したい。	C	第6条第1号(平等利用)、第2号(効用、経費) 町民の健康増進、地域の活性化のため活動できている。	C
◎中部駅伝競走大会	お台場中継所、海洋センター中継所役員をスポーツクラブ職員、会員が担当	・市町の部に北栄町から1チームが出場し、5位の成績を収めた。運営面では、クラブ会員と連携して救護車の運転や2カ所の中継所業務を担い、円滑な進行を行った。一方で、安全確保に不可欠な交通指導員の配置人数が不足しており、今後は指導員の増員や適切な人員配置の見直しなど、安全な大会運営に向けた体制の早期改善が強く求められる。	C	第6条第2号(効用、経費) 中部の市町と協力して、適切な運営ができている。	C
◎県民スポーツ・レクリエーション祭	選手の派遣	・高い競技レベルが求められる「チャンピオンスポーツの部」においては、団体や個人への迅速な案内送付と、オンラインによるスムーズな手続き環境を整備することで、遅滞なく参加申込を行った。同時に、より多くの方が気軽にスポーツに親しめる機会を創出するため、「レクリエーションの部」の参加促進に務めた。	C	第6条第2号(効用、経費) 適切に業務を行っている。	C
◎東伯郡民スポーツ・レクリエーション祭	選手の派遣	・琴浦町を主会場に開催された今年度の郡民スポレクは、前年を上回る677人の選手が参加した。近年の大会は「競う」から「楽しむ(交流)」スポーツへと移行おり、今後は時代に合わせて誰もが安全に親しめる大会へと変革していく必要がある。	C	第6条第2号(効用、経費) 郡の担当者と協力して、適切な運営ができている。	C
自己評価総括				総合評価	総合評価
北栄町社会体育施設及び北栄町B&G海洋センターの管理に係る目的に対する貢献度について		・町民のスポーツ振興を目指し町などと連携をとり事業展開をした結果、下記のような結果が得られた。 ①「運動習慣の定着」「心の健康づくり」「生活習慣病の予防」の推進を掲げ、誰もが参加しやすい多様なプログラムを展開した。これらの取組は、県内で最も低い要介護認定率の維持にも大きく寄与しているものと考えられる。 ②自治会の活性化が町の活力につながるという理念のもと、自治会対抗による各種スポーツ大会を開催し、町民に多様な運動機会を提供している。また、年間のスポーツ大会の成績をもとに「スポーツグランプリ表彰」を実施することで、各自治会の競争意識や連帯感の醸成につながり、地域交流の活性化と持続可能なまちづくりを支える大きな原動力となっている。 ③スポーツクラブの会員数は1,197人で、昨年度と比較して82人減少した。その要因として、人口減少やスポ少に参加する児童数の減少などが考えられる。今後は、持続可能な地域スポーツの受け皿となる体制の強化に努めていきたい。 ④指定管理施設の利用者数は約17万8千人で、昨年度と比較して約1万人増加した。一方で、体育施設の老朽化など、施設管理面では多くの課題を抱えている。今後もこれらの課題に一つ一つ丁寧に対応し、地域の皆様が安全かつ快適に利用できる施設運営と、持続可能な管理体制の構築に努めてまいりたい。 ⑤町民の皆様が「自らの健康は自分で守る」という意識のもとで主体的に健康管理に取り組める環境づくりを目指す。そのために、一人一人の多様なニーズに寄り添った多彩な運動プログラムを企画・提供する。	C	(評価数)A:0 B:1 C:13 D:0 E:0 ・社会体育施設及びB&G海洋センターの管理について適切に実施されており、運営に関しても、タブレットでの一括管理やキャッシュレス決裁など業務の簡素化、利用者の利便性向上を考えた運営となっている。 ・各種スポーツ大会や運動教室の開催、スポ少への支援など町民の心身の健康のため様々な活動が行われており、町民のスポーツ振興に大きく寄与している。 ・町内のみならず、郡・中部・県の関係者とも上手く調整を行い、イベントも問題なく運営で来ている。 ・今後は中学校部活動の地域移行が進み、総合型地域スポーツクラブの重要性がますます大きくなってくる。教育委員会と協力して、進めて欲しいと思う。	

《添付資料》
・令和7年度事業報告書
・令和7年度年間行事予定表
・各種大会結果表
・指定管理施設の利用状況

評価の観点
A 期待される水準を大幅に達成できた
B 期待される水準をいくらか超えて達成
C 期待される水準どおり達成できた
D 期待される水準を一部達成できなかった
E 期待される水準が達成できなかった

【参考】一般財団法人北栄スポーツクラブ 自主事業実績表(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

業務名	実施概要	成果と課題 ＊ 記載できるものは客観的な数字も含わせて記載(改善できたことは前年度と今年度の比較、毎年度事業は各年度など。必要なら別紙添付。)
《自主事業に関すること》		
北栄スポーツクラブ各種団体育成事業	各々が自主的に活動が出来るよう指導	・これまでと同様水泳、野球、陸上、剣道の各部は、自主的に大会や教室を企画・運営し、成果を上げてきた。さらに卓球部やバドミントン部でも、小学生からシニア世代までが共に汗を流す主体的なコミュニティが育っている。昨今、部活動の地域移行が大きな課題となる中、バレーボールやバスケットボールなどは、未来を見据えた新たなクラブ立ち上げ、地域スポーツの受け皿として確かな歩みを始めている。この活発な流れをさらに広げるため、まだ動き出していないその他の団体に対しても、地域社会の活性化や生涯スポーツの振興につながる教室・大会等の実施を、引き続き呼びかけていきたい。
クラブハウスの開放事業	海洋センターをクラブハウスとして開放	・当施設はスポーツクラブ員や子どもから高齢者まで地域の方々が気軽に立ち寄れるコミュニティ拠点を目指している。ロビーにはB&G図書館やキッズスペースを併設し、テレビやWi-Fi環境を整備することで、誰もが心地よく過ごせる憩いのスペースとして親しまれている。しかし、現在のロビースペースには空調設備が導入されていなため、厳しい暑さの夏や冷え込みの激しい冬には室温調整が難しく、利用者が快適に過ごしにくい環境となっている。年間を通じて全世代が安心して集い、さらに交流を深められる魅力的な空間にするためには、ロビーへのエアコン設置による快適な環境づくりが不可欠である。
スポーツ安全保険の加入奨励事務	保険加入の呼びかけ、保険手続き業務	・スポーツ安全保険の加入促進に努めた。ジュニアの部においては加入率100%となっている。一般の部においても重要性を丁寧に周知し、加入の働きかけに努めた。また、万が一の傷害発生時には初期対応から書類作成まで迅速かつ的確に連携を取り、保険手続きを滞りなく完了させた。今後も安心安全な競技環境の整備を徹底したい。
クラブ指導者の養成研修	スポーツクラブ指導者を対象とした研修の実施	・同町出身で読売ジャイアンツの現役トレーナー・岩垣光洋氏と、清水病院の管理栄養士を講師に招いた研修会を開催した。指導者やクラブ会員の資質向上を目的に、実施した。当日は28名が参加し、プロの現場で培われた専門的なトレーニング方法や、アスリートの体を支える実践的な食事管理について熱心に学んだ。参加者にとって、第一線で活躍するプロの知識を直接吸収できる大変有意義で、今後の活動に活かせる充実した時間となった。
クラブマネジャーの養成	各部のリーダー養成(現在活動中のクラブ 46団体)	・現在、活動中の部に留まらず、新団体の設立相談やリーダー養成を行い、日常の円滑な運営を支援している。さらに、直近の大きな課題として「中学校部活動の地域移行」への対応が挙げられる。この移行を成功させるには、専門的な知識を持つ指導者の発掘や継続的な育成、さらには活動維持に必要な資金の確保など、解決すべき問題が山積している。地域全体で持続可能なクラブ運営ができる基盤づくりをサポートしていきたい。
健康運動教室	海洋センターで毎週月・木曜日、大栄体育館で毎週金曜日に高齢者を対象とした運動教室を実施した。	・加齢に伴う体力減退や日々の体調不良、さらには諸運動機能の低下に歯止めをかけることを目的とした健康増進の教室を開催。若々しく健康でいたいというアンチエイジングへの関心や、将来の要介護予防を強く意識する住民、148人もの方々が参加。専門知識を学びながら熱心に体を動かすなど、健康寿命の延伸に向けた高い意欲が感じられ、非常に活気にあふれた時間となっている。
バランスボール＆フィットネス教室	毎月第1・第3土曜日に主に20代から50代を対象とした運動教室を実施した。	・前年度を上回る21名の参加があった。普段は仕事や家事に追われ、運動機会の少ない方々へ、体力・筋力向上と運動習慣の定着を図る絶好の機会となった。特に、日頃は時間の確保が難しい子育て中の女性や、平日に勤務する社会人の方々が多数参加できたことは大きな成果である。地域における貴重な運動機会の提供として、健康増進に向けた確かな一歩を踏み出す有意義な事業となっている。
ニュースポーツの普及と各種教室等の開催	水泳、ランニング、スキー、パットゲームスター、ヨガを実施した。	・町民へ広く呼びかけ、小学生からシニアまで多世代が交流できるニュースポーツ等の機会を創出した。毎年大人気の夏休み水泳教室では、泳力の向上に加え、水辺の安全教室を通じて命を守る技術を指導し、安全で楽しい親水活動を推進している。また、女性を中心に大好評のヨガ教室など、健康増進への関心も高まっている。今後も多様化する町民のニーズを的確に捉え、魅力的なスポーツ種目を積極的に導入しながら、健康で活力あるまちづくりに貢献していきたい。
北栄BG塾	町内外小学3年生から6年生を対象に夏休みの5日間BGでの体験活動を実施した。	・子どもたちに多彩なプログラムを提供し、非常に充実した活動を展開できた。学習支援や創作活動をはじめ、アリーナやプールを活かした運動をバランスよく実施。野外活動としては、鳥取市B&G海洋センターでのカヌー体験を行い、自然と触れ合う貴重な機会となった。また、教育委員会と連携したサマースクールへの参加により、学びの質を高めることが出来た。さらに初の試みとして、防災意識を育む「避難所宿泊体験」を実施した。指定避難所であるB&Gの館内にテントを張り、実際に夜を過ごす貴重な経験を行うことが出来た。心身の成長と万が一への備えを両立した、実り多き事業となった。
《協働事業に関すること》		
北栄町健康づくり事業	北栄町健康推進課とタイアップし運動教室の協力及び指導に取り組んだ。	・健康計画推進委員として、町民の主体的な健康づくりを多角的に支援した。一人ひとりのニーズに応じた健康助言を行うだけでなく、初心者でも楽しく参加できる運動教室の企画立案から当日の実技指導まで一貫して主導。参加者が自発的かつ意欲的に運動を続けられるようなプログラムを展開した結果、多くの町民の運動習慣化を強力に後押しし、地域全体の健康増進に大きく貢献できた。
《総括》		
自主事業総括		・本事業は、スポーツクラブ会員やスポーツ推進員の強固な協力を得ながら、各事業へ能動的に取り組んでいる。すべては会員の皆様や町民の福祉向上のためであり、生涯を通じて健康で豊か、かつ活力ある生活を営めるよう、生涯スポーツ社会の創出と定着を目的としている。この取り組みは年々地域に浸透し、確かな手応えを感じている。今後は、さらに多くの方々に当スポーツクラブの活動を知っていただき、参加の輪を広げるため、SNSや広報誌を活用した情報発信をより一層強化し町内外へ魅力を積極的にアピールし、認知度向上と地域活性化に全力を尽くしていきたい。